



《写真》和歌山県中学校総合体育大会女子駅伝競走の部【下里中学校 優勝】



12月定例会

- 議案審議・・・・・・・・・・・・・・ P2～3
- 議案採決状況一覧・・・・・・・・・・ P4
- ここを問いたい（一般質問）・・・・・・ P4～10
- 委員会報告・・・・・・・・・・・・・・ P11～13
- まちの元気・笑顔・輝き・・・・・・ P14
（下里中学校全国中学校駅伝大会出場）

条例・補正予算などを審議

活発な質疑、議論、提案が展開される

12月
定例会

議案審議

那智勝浦町

火災予防条例

問 林野火災注意報の発令対象に「休耕田」を入れてみては。

答 今後検討する。

問 林野火災警報・注意報発令時の町民への周知は。

答 防災行政無線、電子メールでの広報に加え、消防車両にて巡回を行う。

那智勝浦町

津波避難タワーの設置及び管理に関する条例

問 タワー管理基準など管理対応に関する考

えは。

12月8日から16日まで9日間の会期で開かれました。今議会では令和7年度補正予算や新庁舎整備特別委員会の設置に関する決議など22件の議案等を審議しました。

答 周辺の草刈り等を必要に応じて実施し、その他連絡等があれば、その都度対応していく。

問 築地地区津波避難タワー周辺の駐車場料金、運営・管理方式は。

答 料金は有料で、観光機構へ委託して運営。管理はカメラ方式を予定。



築地地区津波避難タワー
地域の防災力向上が期待される

令和7年度

一般会計補正予算

人件費の

抑制策について

問 人事院勧告や物価スライドにより人件費は増加傾向である。人件費抑制について考えはないか。

答 人件費は、人事院勧告に準ずるため抑制は難しい。定員管理計画の見直しで、適正な定員の管理に努めたい。

紀伊勝浦駅前道路整備
不動産鑑定業務委託

問 紀伊勝浦駅前ロータリー整備構想の説明は総務経済常任委員会でも受けているが、説明が不十分。用地買収のための委託料は適切か。

答 大型バス進入に際し、観光機構の駐車場が干渉するため用地買収が必要となった。民間の土地であるため、今回、不動産鑑定によって買収金額を試算する。

那智勝浦町過疎地域
持続的発展計画の変更

問 過疎計画は町の将来の過疎化を防ぐ重要な計画。追加議案ではなく、もっと早いタイミングで提出する必要があるのでは。

答 今回、追加議案として提出したため検討時間が十分になかったが、今後の変更時は、その点注意のうえ、諮らせていただく。

過疎地域持続的発展計画とは

過疎地域の人口減少・少子高齢化による活力低下に対応し、地域資源を活かして持続可能な地域社会を形成するため地方公共団体が策定する総合的な計画。
(計画に基づき有利な地方債を活用することや設備投資税制優遇が受けられる)

一般会計補正予算

道の駅なち「丹敷の湯」タイル修繕料予算を削除

修正案の提出

提出者 吾妻 正崇 議員

提案理由 道の駅なち「丹敷の湯」タイル修繕料は、再開を決定していない現状で費用は過大であり、住民の皆さまに理解いただけるとは到底思えない。

修正内容 修繕料予算350万円を削除する



討論

修正案に 賛成

東 議員



指定管理者選定委員会による方向性が出された後でも安全性の担保ができ、方法について他にもあると思われるため修正案に賛成する。

松本 議員



丹敷の湯の再開が決まっていない状況では目的の無い修繕となり、350万円が無駄になる。再開することを決めてから議論すべき。まずは、当局側が再開か閉鎖をはっきり意思表示することが先決。

修正案に 反対

城本 議員



丹敷の湯を再開するのではなく指定管理のために350万円を出すのは無駄遣いである。しかし、この修正案は「少しでも早く再開してほしい」という住民の願い、再開の道を閉ざすことになるので、修正案に反対する。

曾根 議員



丹敷の湯の再開を望む街の声に押され、タイルを修繕する判断に至ったと考えたい。その意味では、再開に100歩も200歩も近づいたと思う。今回修繕しなければ、その可能性が閉ざされてしまうので修正案に反対する。

津本 議員



丹敷の湯を継続するかどうかの決議でも継続すべきとして賛成した。経費を計上しなくとも修繕できたはずだが、地域のコミュニティを守るために、まず修繕し事業を再開すべき。温泉で潤ってきたのだから、町民に還元すべき。

賛成 6 : 反対 4

引地



吾妻



城本



西



藤社



東



曾根



津本



松本



勝山



修正案可決

議案の採決状況一覧

令和7年第4回定例会で審議された議案は以下のとおりです
(○賛成 ×反対 議長は採決に加わらない)

議 案	氏 名	引地稔治	吾妻正崇	城本和男	加藤康高	藤社和美	西 太吉	曾根和仁	東 信介	松本和彦	津本芳光	勝山則子	議決結果 (賛成：反対)
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
町長、副町長及び教育長の給料その他の給与条例の一部を改正する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
津波避難タワーの設置及び管理に関する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
火災予防条例の一部を改正する条例		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
令和7年度一般会計補正予算(第6号) 修正案		○	○	×	-	○	×	×	○	○	×	○	可決(6 : 4)
令和7年度一般会計補正予算(第6号) 修正案を除く部分		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
令和7年度国民健康保険事業費特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
令和7年度後期高齢者医療事業費特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
令和7年度介護保険事業費特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
令和7年度水道事業会計補正予算(第2号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
令和7年度那智勝浦町立温泉病院事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
町道の路線一部廃止について		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
町道の路線廃止について		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
過疎地域持続的発展計画の変更について		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)
新庁舎整備特別委員会の設置に関する決議		○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	可決(全会一致)

○人権擁護委員の推薦について ⇒ 東条 雅之 氏(口色川) を適任者として答申

ここを問いたい

12月定例会
一般質問

勝山 則子 議員 (5 ページ)

- ◇安心して出産、子育てができる環境作り
- ◇男性にもHpvワクチン接種を

城本 和男 議員 (6 ページ)

- ◇安心安全のまちづくり
町民の不安は本当に解消されたのか
- ◇住民の身近な暮らしを支援する施策を進めていただきたい

津本 芳光 議員 (7 ページ)

- ◇お米券ではなく再度、商品券の配布を
- ◇色川地区への移住対策を早急に
- ◇町独自の子育て支援策は
- ◇「道の駅」は赤字、黒字だけで判断せず

曾根 和仁 議員 (8 ページ)

- ◇地域の農業を支える法人組織の設立
- ◇再度、懸泉堂の保全と活用を問う

吾妻 正崇 議員 (9 ページ)

- ◇町史の編さん計画
- ◇懸泉堂はどうなる？
- ◇ふるさと納税の現状と体制
- ◇学童保育所の学校内設置
- ◇水道事業の健全経営

藤社 和美 議員 (10 ページ)

- ◇弁天島は街歩き観光のポイント
- ◇町政への思いは
- ◇インフルエンザ予防接種の助成増額を
- ◇緊急車出動表示システムの設置

※一般質問に関する記事は 質問者本人が作成 しています
※各ページ議員顔写真右下のQRコードを読み取ることで、各議員の一般質問動画を見ることができます。

◆一般質問とは◆ 議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質す大事な議員活動の場です。

産後ドゥーラの導入を

町長 今後、地域のニーズがあれば導入を考える

安心して出産、子育てができる環境作り

質問 本町で実施している産前産後における支援は。

答弁（こども未来課長）
妊娠期から出産、産後の不安や悩みを面談などを通じてサポートしている。また、産後安心して子育てができるよう産後ケア事業により、訪問型、通所型、宿泊型で選択して利用できる支援体制を整えている。

質問 産後の母親は孤独を感じ、睡眠不足や疲れ、育児の不安など1人ではどうしようもない時があり、それが産後うつや虐待につながる可能性もある。産後の母親の家事育児を支える産後ドゥーラの活用が有効ではないか。

答弁（こども未来課長）
産後ドゥーラなど、地域の多様な民間の力を活用することも有効と考えるが、家事や育児支援のニーズがあるか把握する必要がある。



安心して子育てできる環境作りが今求められている

産後ドゥーラとは

産後の相談と家事支援の両方ができる民間の有資格者。
まだ和歌山県には、有資格者はいない。

男性にも
HPVワクチン接種を

質問 HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンは、日本では、子宮頸がんワクチンという名称が使われるため、女性を対象としたものだと思うが、男性が接種すること、肛門がんや咽頭がんなどの関連がんの抑制、パートナーの感染予防にもなる。女性だけでなく男性に対しても公費負担による予防接種を進めて行く必要があるのではないか。



男性へのワクチン接種
公費負担化が望まれる

答弁（福祉課長）
男性へのワクチン接種について、現在、国の審議会において、定期接種化への検討が進められている。予防する対象疾病や安全性について、国の動向を注視し、助成制度の検討をしていきたい。



勝山 則子 議員

避難タワーや避難場所の整備の要望はあるのか

総務課長

町内の複数の地域から要望はある

安心安全のまちづくり
町民の不安は本当に
解消されたのか

質問 築地地区津波避難
タワーの整備で、本町の
避難困難地域はなくなっ
たのか。

答弁（総務課長）
県がいう三連動地震の
ハード整備、津波避難困
難地域は解消した。

質問 さらに避難タワー
や避難場所整備の要望が
あるということは、町民



安心安全のまちづくり
築地地区に新たに整備された
津波避難タワー

住民の身近な暮らしを
支援する施策を
進めていただきたい

要望 早急に町民の不安
を解消できるよう、今後
とも防災対策を優先に事
業を行っていただきたい。

答弁（町長）
引き続き防災減災対策
を最重要課題として取り
組んでいく。また地域で
の避難所運営訓練等を行
っていききたい。

の不安は解消されていな
いのではないか。さらに
ハード・ソフトの対応が
必要ではないか。

質問 町も地域と一緒に
考えてもらえないか。何
か支援はできないか。森
林環境譲与税を活用して
ゴミの収集箱を作っても
らえないのか。

質問 地域住民は色々な
問題を抱えている。例え
ば、ゴミの収集場所の管
理。カラスの被害でゴミ
が散乱し、住民が清掃し
ている。町に相談しても
地域でやってくださいと
の返事である。そのよう
な苦情や相談はないか。
答弁（住民課長）
年に数件の相談がある。

ほか太田地区のデスマ
ンドタクシー、獣害対
策、農地の保安全管理、
市屋の水道施設建設の
安全性について質問を
しました。



地域の住民が散乱したゴミ
を清掃している。町も何か
できないのか。

答弁（住民課長）
ネットの配布が現状の
対策。将来判断したい。



城本 和男 議員



町民生活は厳しい

早急な物価高騰対策を

総務課長

できうる限りすみやかに

事業提案したい



津本 芳光 議員

お米券ではなく
再度、商品券の配布を

質問

政府はお米券の配布などを決めたが、政府案を待つまでもなく、町としての具体的な対策を考えるべき。

答弁（総務課長）

現在、物価高騰対策として各課に事業案を募集している。

色川地区への

移住対策を早急に

質問

色川小の入学生が令和9年にいなくなる可能性が。昨年9月「オーブンビレッジ色川」とい

う地域の自主的な取り組みが実施されたが、その内容は。

答弁（観光企画課長）

都市部に住む若者が田舎暮らしを体感すること、将来それを選択肢に、という目的で実施。参加者は13組あった。

質問

取り組んだ後の声や要望など聞いているか。空き家に関する具体的な声を聞いて、対策を考えてほしい。

答弁（観光企画課長）

色川で2ヶ月に1回開かれる報告会に町の担当者も出席し、要望等も把握したい。



子育て支援策は所得制限を設けず、一層の充実を

町独自の

子育て支援策は

質問

県下では、国民健康保険税の均等割支援を18歳まで独自に行っている自治体もある。基金の活用で、学校卒業まで年齢を引き上げられないか。

答弁（住民課長）

全国知事会も、均等割の年齢引き上げと支援の拡充を国に要望。本町では独自施策は難しいが、来年度に限定し、基金を取り崩して保険税を抑制したい。

質問

病児保育の具体的な進展は喜ばしい。体制を確立するためにも小児科医の確保を。

答弁（病院事務長）

小児科医の確保は、広域的に取り組んでいくべきと考えている。

「道の駅」は赤字、黒字だけで判断せず

質問

道の駅「なち」は世界遺産熊野古道の出发点で、那智・浜ノ宮地域のコミュニティの場。民間委託したら、利益が上がりなければ撤退もある。「丹敷の湯」も含め公営で継続していくべき。温泉で得た利益は町民に還元し、町民が安価に入浴できるように。

答弁（農林水産課長）

町内には多様な民間温泉施設があるので、公営での継続は難しい。民営になっても、にぎわいが創出できるよう、プロポーザルの選定委員会を進めていく。

旧魚商冷蔵庫の在り方

話し合って解決策を！

農林水産課長

所有関係や費用負担など

慎重な整理が必要



曾根 和仁 議員

質問

漁協の旧冷蔵庫は町が引き取ったが、魚商組合の冷蔵庫はそのままである。過去のいきさつは。

答弁（副町長）

私が在籍していた15年ほど前に、魚商が自前で解体すれば、町が跡地を買い取るという話はした。その後の経過は知らない。

質問

仮に取得できた場合、市場周辺に「生まぐろ」をPRできる施設が欲しいと思うが。

答弁（農林水産課長）

「生まぐろ」の更なるブランド化に関係者が集まり協議を進めているところ。

地域の農業を支える

法人組織の設立

質問

近年の休耕地の増加と、農業従事者数の推移の把握は。

答弁（農林水産課長）

2015年と2020年の統計の比較では、耕作地は14ヘクタール減り、経営体も112から76に減少。

質問

太田地区など、大規模な稲作農家の後継者確保が急がれる。農業経営の法人化も視野に入れるべきでは。

答弁（農林水産課長）

行政主体では難しいが、官・民の連携や、民間主導で成功している事例を研究したい。

再度、懸泉堂の保全と活用を問う

質問

建物の寄贈を受けて、もう2年近くなる。専属の担当者を置いているのか。

答弁（教育次長）

今年度中に学芸員が退職し不在。私と生涯学習課長の管理職で対応しているのが現状。



懸泉堂は「貴賤貧富親疎の差別を論ぜず」こどもを集めて教育した私塾。フリースクールや学校に行けない児童・生徒の通いの場、または学童保育など「人が育つ場所」として整備してはいかがか。

質問

必要なのは早く利活用計画を立てること。若い学芸員より中堅クラス職員がふさわしい。登録有形文化財の指定を受けるための動きは。

答弁（教育次長）

県の文化遺産課より、先に修繕をしてからの登録が望ましいと、助言を受けている。

一般質問

町史の編さん計画は？

教育次長 2030年（令和12年）を目的に

町史の編さん計画

質問 前回の編さんから45年が経過し、歴史を知る人が減少している。次世代への継承のため、いつまでに編さんする計画か。

答弁（教育次長） 2030年（令和12年）を目的に、デジタル化等の現代に見合った形態も含め、何らかの形にまとめられるよう検討を始める。

縣泉堂はどうなる？

質問 縣泉堂の整備方針について、いつまでに決定するのか。

答弁（教育次長） 建物の傷みも進んでいる。遅くとも次年度（令和8年度）中には方針を決定したい。可能であれば前倒しで進めていく。

ふるさと納税の現状と体制

質問 今年度の実績見込みと、担当職員の業務過多による遅れはないか。

答弁（観光企画課長） 11月末で約2億円。10月1日付で担当課職員を1名増員しており、引き

続き効率化を図りながら目標の3億円を目指す。

学童保育所の学校内設置

質問 アンケートで要望が多い「小学校内での学童運営」が2年間進展していない。早期解決できないか。

答弁（教育次長） 現在は空き教室が不足している状況だが、児童数の推移を見守り、教育委員会と学校側で管理運営上の責任体制等を含め協議を続ける。



学校内学童運営に向けて熱心な協議に期待
※写真はイメージです。

水道事業の健全経営

質問 老朽化対策に多額の費用を要する中、一般会計からの繰り入れが料金改定か、今後の方針は。

答弁（総務課長） 独立採算が基本だが、資金不足を避けるため令和7年度当初予算で約4200万円の繰出金を措置した。今後も適正な運営に努める。



吾妻 正崇 議員



弁天島にトイレと駐車場の整備を

町長 トイレも含めて協議していく

弁天島は街歩き観光のポイント

質問 企業より申し出のあった弁天島周辺の土地の進展は。

答弁（観光企画課長） 寄付いただき所有権は町に移転している。

答弁（町長） 企業には多大な協力をいただいた。トイレも含めて協議していく。

町政への思いは

質問 三期目への抱負と二期目の実績は。

答弁（町長）

財政規律を守りながら事業を進める。

住んでよかったと思ってもらえる町に。

◎三期目への抱負

- ・中核避難所の環境整備、備蓄の充実と実践訓練
- ・新庁舎への建替え
- ・病児保育、各種ワクチン接種支援
- ・体育文化会館の多世代交流の拠点化
- ・高齢者の機能保持のための健康教室の拡充
- ・農林水産品の新製品の開発支援と磯枯れ対策
- ・那智の滝100年の森づくり

◎二期目の実績

- ・津波避難困難区域解消の避難タワー整備
- ・熊野の水のボトリング事業と備蓄
- ・高校までの医療費無償化、中学までの給食費無償化、通学費支援、保育料無償化
- ・拡大、赤ちゃん祝い金制度創設、子育て支援センター設置
- ・体育文化会館マシンの整備、グラウンドの芝生化、バスケット・多目的コート整備
- ・75歳以上の町営バス無料化、パートナースhip・ファミリースhip制度の導入

インフルエンザ予防接種の助成増額を



フルミストワクチンは注射の痛みもなく抗体も一年保持される

質問 ワクチンの接種率が低い。助成金の拡充を。

答弁（町長）

打ち控えなく効果を出すために増額を考える。



藤社 和美 議員



緊急車出動表示システムの設置

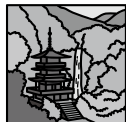
質問 消防防災センター出入口の見通しが悪く危険である。対策は考えたことはあるのか。

答弁（消防長）

緊急車出動表示システムを国道に設置することが対策になる。検討していく。



湯川側から新宮方面に向かう際、緊急車両に気づきにくい



委員会報告



美瑛町との友好都市 協定締結に向けて

総務経済
常任委員会

北海道美瑛町との かかわりと歴史

本町と美瑛町とのかわりは約130年前までさかのぼります。本町の旧太田村の先人たちが今の美瑛町に移り住み、開墾したのが始まりといわれています。

その後、昭和63年に十勝岳噴火が発生し、美瑛町では町民に不安が広がりましたが、地元の有志の方々により「十勝岳の鎮静と町の発展」を願い、ゆかりのある熊野那智大社の伝統行事である「那智の扇祭り」の伝承を受け、開催した祭りが「那智・美瑛の火祭り」の始まりといわれています。

祭りの火を譲り受けたもので、以来約40年にわたりに関係者が互いの祭りに参加するなどして交流が続いております。



議長、町長をはじめ関係者が
北海道美瑛町を視察訪問

友好都市協定の 締結を前に

今回、友好都市協定の締結に先立ち12月22日、24日の3日間の日程で、議長および町長を含めた8名で美瑛町を視察訪問し、意見交換を行いました。

協定締結の暁には両町の文化交流や観光資源の相互活用、地域経済の活性化が期待されるところです。



両町関係者が友好都市協定の
締結に向けて意見交換を行いました

新クリーンセンター

12月の供用開始を確認

新クリーンセンター
建設調査
特別委員会

令和7年12月11日住民課より新クリーンセンターの状況と経過について説明を受けました。

8月の引渡性能検査において1号炉のHCl（塩化水素）濃度が自主基準値を超過したため、調査及び改善対策、再検査のため9月30日までの工期を11月30日までに延長しました。

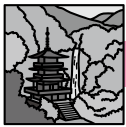
原因は計器周辺の温度

上昇による計器の不具合で対策を実施。10月の引渡性能検査（再測定）ですべて基準値以下となり12月1日より供用を開始しています。

施設が完成し供用を開始したことにより、令和8年3月までの施設の管理運営に問題がなければ、新クリーンセンター建設調査特別委員会を閉じることを確認しました。



供用を開始した
新クリーンセンター



委員会報告



子どもたちが 安心して住める町に

教育厚生 常任委員会

命を守る学びの場

毎年、防災教育の推進として、町内の小中学校において防災学習が行われています。避難所で使用するパーテーションや段ボールベッドの設置を体験したり、被災時を想定し、水で作ったカップ麺とアルファ化米の試食を行いました。



パーテーションの設置を体験

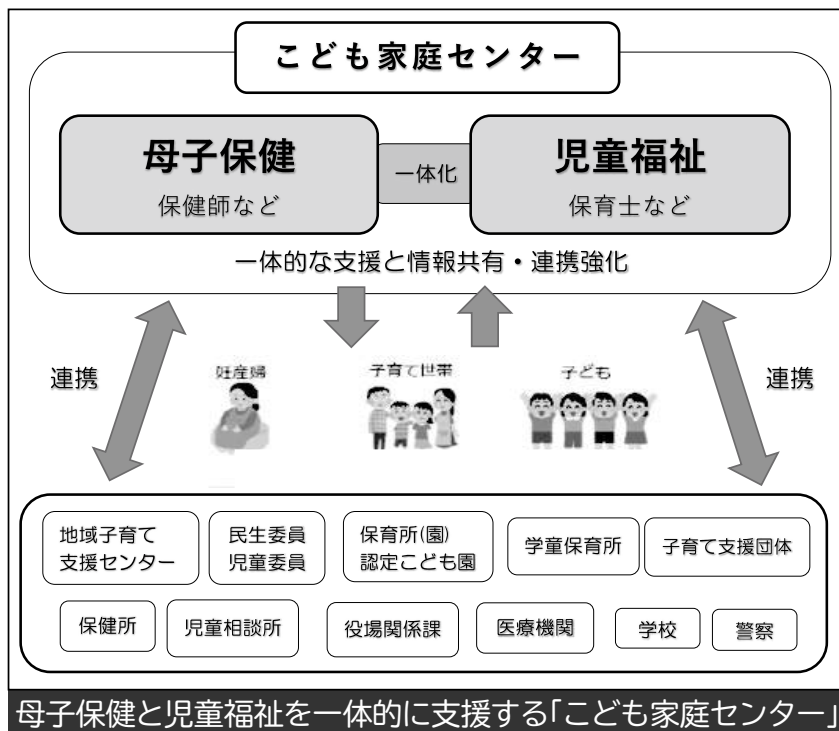
いざというときにその体験を活かせるよう、これからも防災学習に力を入れています。



みんなで知恵を出し合い
対策を考える



ハザードマップについて
みんなで学ぶ



こども家庭センター
の設置

すべての妊産婦、子育て世帯、こどもへの支援体制をより充実・強化するため、これまでの母子保健と児童福祉の相談

を一体化。

さまざまな関係機関と連携しながら相談者の解決に向けて支援を行っていく身近な相談機関「こども家庭センター」が今後設置されます。

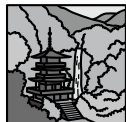
新庁舎整備 特別委員会

人口減少に伴う様々な複合的問題がある中で役場本庁舎の整備を議会として注視し、様々な検討課題について調査を行うため、新庁舎整備特別委員会を設置しました。



そね かずひと 委員長
曾根 和仁

委員長 曾根 和仁
副委員長 城本 和男
委員 議長を除く
全議員



委員会報告



ペーパーレス化に向けて、来年度、タブレット端末を導入することを確認しました。

また、昨年度から議会での一般質問の様子をYouTube（ユーチューブ）で配信していますが、町民の皆さまに對してあまり広報ができていないのではとの意見があり、広報活動を強化していくこととなりました。

最後に、議会改革の一環として物価高騰や議員の成り手不足が心配されるなか、議員報酬の検討も必要ではとの意見が出され、検討していくこととなりました。

ペーパーレス化など 今後の議会改革を検討

議会改革
特別委員会



議会YouTube紹介ページへのリンクはコチラから【町ホームページ】

議会での一般質問のYouTube（ユーチューブ）配信は、パソコンやスマートフォンから簡単にアクセスして、ご覧いただけます。

各議員は町当局に対して鋭い質問で議論を交わしています。

動画でしか伝わらない内容もありますので、ぜひ動画をご視聴ください。

動画アクセス方法は

①上のQRコードから町ホームページへ



②お好きな検索サイトから下のキーワードで検索



議員の顔写真を選んで
YouTube ページで視聴

那智勝浦町議会 YouTube ページで
お好きな再生リストを選んで視聴

下里中学校女子駅伝チーム 県大会新記録で優勝！



下里中学校女子駅伝チームは、令和7年11月15日に田辺市で開催された第77回和歌山県中学校総合体育大会女子駅伝競走の部において、44分55秒の大会新記録で優勝、2連覇を果たしました。そして11月30日開催の近畿大会、12月14日開催の全国大会に和歌山県代表として出場しました。



松下 澄珠 すず **キャプテン** みんなが頑張ってきた積み重ねの結果、県大会で私たちが目標にしていた大会新記録で優勝できたことが、このチームで一番うれしかったことです。大会が終わってほっとしています。



寺本 匡宏 まさひろ **監督** 個々の力が充実したこと、また色々な方の支えで全体の力がアップしたことがこのチームの強みです。今回改めて、体調の大切さを実感しました。個の力や人間性など様々な成長が、県大会の3連覇、そして全国大会の出場につながっていくと思います。



宇治田 洋子 **コーチ** 今年のチームは去年の経験があったから、みんなそれぞれの目標が明確になりました。目標に向かって頑張れたことで強いチームになりました。来年もう一回全国大会に出場したいです。

2年連続 全国大会・近畿大会出場



表紙の写真から

一年間の積み重ねを県大会にぶつけ、大会新記録で優勝した下里中学校駅伝チームの笑顔です。

関係者への感謝が述べられ、駅伝だけでなく人間的にも学ぶことがあったんだと感ずることができました。

(勝山 則子)

編集後記

素晴らしい日の出で始まった新年ですが、各地で地震や山火事など自然災害が起こっています。

個々の意識と準備が減災につながります。今一度、気を引き締め、議会においても防災・減災に取り組んでいきます。

(藤社 和美)

議会広報編集委員会

議長	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
加藤 康高	勝山 則子	松本 和彦	西 太吉	引地 稔治	吾妻 正崇	藤社 和美

発行責任者